

2025 年度  
日本ボランティア学習協会  
アレックディクソン賞  
＜推薦要項＞

## 1. 趣 旨

日本ボランティア学習協会では、コミュニティからグローバル社会を舞台に多彩に展開されているボランティア学習の限りない可能性への探求と発展を願って『アレックディクソン賞』を創設します。

この賞は、“世界のボランティアの父”と呼ばれ、国や地域を越えてボランティア学習の普及に大きな功績のあった、イギリスのアレックディクソン博士(Dr. Alec Dickson)の業績を記念して設けるものです。

賞の対象となるのは、ボランティア学習の「研究部門」「実践部門」「推進部門」の3つの分野です。

「研究部門」は40歳未満の会員が論文で応募することができます。

「実践部門」「推進部門」は、会員の推薦によりノミネートされ、『アレックディクソン賞』選考委員会によって審査されます。

推薦対象は、行政や民間を問いません。青少年自身の学習活動を含めた、学校教育や社会教育におけるボランティア学習への取り組み。市民の生涯学習活動による取り組み。国内外で活躍するNGOやNPOなどの民間非営利組織による取り組みなど、多彩なジャンルからの推薦を期待します。

## 2. 実施主体

(1)主催 日本ボランティア学習協会

(2)運営 『アレックディクソン賞』選考委員会

## 3. 内 容

賞の内容は、次の三部門とします。

部 門	内 容	選 考	対 象
ボランティア 学習研究部門	ボランティア学習についての優れた研究活動を行った人や組織に授与する。	会員が『研究紀要』に応募した論文を対象に審査する。	40歳未満の研究者。
ボランティア 学習実践部門	ボランティア学習について優れた実践活動を行った人や組織に授与する。	会員の推薦をもとに審査する。	児童・生徒・学生や組織等。
ボランティア 学習推進部門	ボランティア学習について優れた推進活動を行った人や組織に授与する。	会員の推薦をもとに審査する。	推進活動を行う個人・組織等。

(授与対象は、原則として各1名または1組織)

## 4. 日 程

推薦の募集から表彰までは、次の日程と方法で行います。

	日 程	方 法
募 集	7月1日～9月30日	研究紀要やホームページで募集する
選 考	10月初旬	委嘱した選考委員会により審査する
発 表	10月末(予定)	ホームページ等で発表する
表 彰	11月～12月	『日本ボランティア学習学会』において表彰する

## 5. 表彰

受賞者には、賞状および記念オブジェが授与されます。また、研究紀要にて発表します。

## 6. 推薦の方法

部門	推薦方法	推薦資格	推薦者
ボランティア 学習研究部門	『研究紀要』編集委員会が査読結果をもとに推薦する。	協会『研究紀要』に掲載される、40歳未満の研究者の応募論文を対象。	研究紀要編集委員会
ボランティア 学習実践部門	協会会員が、所定の推薦要項にもとづき推薦する。	会員の推薦する、児童・生徒・学生・社会人等の実践活動を対象。	協会会員
ボランティア 学習推進部門	協会会員が、所定の推薦要項にもとづき推薦する。	会員の推薦する、ボランティア学習の推進活動を行う組織を対象。	協会会員

- ・上表の3部門のうち、「実践部門」および「推進部門」について推薦できるのは協会会員の方です。
- ・推薦にあたっては、所定の推薦用紙に記入の上、活動報告書・会則・総会資料など活動状況がわかる資料を添付して、下記8の協会事務局あてに郵送してください。

## 7. 推薦の締め切り

2025年9月30日（当日必着）

## 8. 推薦用紙および関係資料の送り先

（郵送先）

〒165-0032

東京都中野区鷺宮3-41-3 栗田方

日本ボランティア学習協会事務局